

## 2020 年度 事業報告

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された 1 年でした。首都圏や関西圏での感染拡大に留まらず、中京圏でも愛知県、岐阜県で 2 度目の緊急事態宣言が発出されるなど感染リスクは身近なところでも高い状況となりました。そのため、当協会の 60 周年記念事業を初め、各委員会の多くの活動についても中止を余儀なくされました。

そのような環境下、当協会では「三重県 LP ガス協会新型コロナウイルス対策ガイドライン」を策定し、必要な都度改訂を加えながら会員事業者にも周知して感染拡大を防止しつつ、LP ガスの安定供給と保安の確保に努めました。

自然災害では昨年 7 月に九州地方や中部地方で集中豪雨が発生し、また本年 2 月には 10 年前の東日本大震災の余震と見られる地震が福島県沖で発生するなど、各地で大きな被害をもたらしました。集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れなどで顧客の軒先からは依然として容器流出が発生し、水害に対する備えについて課題を残すことになりました。

加えて、昨年 7 月に福島県郡山市で発生した業務用施設でのガス爆発事故では LP ガスのブランドイメージを損なうこととなり、同施設でのガス警報器とガスメーターとの連動促進が強化されることになりました。

当協会ではお客様から選択されるエネルギーとなるべく、保安の確保、取引適正化、快適な生活提案など LP ガスブランド力向上の活動に加えて、「災害対策要綱・マニュアル」の整備を図るなどの災害対策にも注力してまいりました。

2020 年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

(注)中止した事業には(▲)、規模を縮小した事業には(△)を付してあります。

### ■需要開発委員会

需要開発委員会では、LP ガスの更なる需要拡大と LP ガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしをお客様に提供するための活動を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止せざるを得ない活動が多くありました。

#### 1. 需要開発推進運動

##### (1) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」(▲)

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のことばの意味やお箸の正しい使い方の出前授業を社会貢献活動として計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止いたしました。

##### (2) 親子クッキングコンテスト三重実技大会(▲)

2014 年度から県立相可高校食物調理科の村林先生、生徒さんの全面協力を得て、親子で楽しく、LP ガスの炎で美味しい料理を作るコンテストを開催してきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染予防のため親子クッキングコンテスト全国大会・東海大会が中止となったため、三重実技大会も中止いたしました。

それに代わる取り組みとして日本ガス体エネルギー普及促進協議会がインターネット上に特設サイトとして「ウィズガス おうちで親子クッキングチャンネル」を開設しま

## 第1号議案

したので、協会ホームページからも利用できるよう普及啓発に努めました。

### 2. Gライン活動

ガス体エネルギー、ウィズガスとしてガスの良さを訴えることを主目的に活動を展開してきました。

#### (1) Gラインセミナー（愛知・岐阜・三重）（▲）

2020年度においては三重県での開催を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止いたしました。

### 3. 全国LPガスワンランクアップキャンペーン

全国LPガス協会が需要開発推進運動の取り組みとして始めましたキャンペーンも本年で4年目となりました。当委員会はキャンペーン趣旨に賛同し、広く会員事業者へ呼びかけ、販売促進の一助として活動に取り組みました。

〈応募結果〉 応募件数 338件（全国 11,921件）、当選数 9名（全国 500名）

昨年度の応募件数 149件を大きく上回る結果（127%アップ）となり、ご協力ありがとうございました。

## ■流通委員会

流通委員会では、お客様との良好な関係を図るべく、会員事業者に向けて取引適正化指針・LPガス販売指針の周知に努めました。また、お客様相談所ではお客様からの問い合わせ、困りごと相談の対応など積極的に幅広く活動しました。

### 1. 業界の発展基盤の強化

#### (1) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

- ・ 相談件数 65件（前年度比 △35件）

主な増減は、LPガスの価格についての相談件数が前年比 △11件となっています。

- ・ お客様相談所委員会の開催（▲）

1月29日（金）、プラザ洞津で消費者代表として三重県地域婦人団体連絡協議会、四日市消費者協会、また行政担当委員として三重県消費生活センター、三重県防災対策部消防・保安課を招いて開催を予定していましたが、三重県からの新型コロナウイルス感染拡大による「緊急警戒宣言」発出を受けて急遽、中止させていただきました。

#### (2) 悪質な訪問販売、詐欺・点検商法への注意喚起文書配布などによる防犯啓発

三重県警察本部、三重県消費生活センターと連携協力し、悪質な訪問販売や多発する詐欺被害を防ぐために作成した防犯チラシの活用を会員事業者へ呼びかけるとともに愛知県LPガス協会と協同でデジタルサイネージを用いた防犯啓発を行いました。

#### (3) 広報活動

三重県独自のキャラクター（エルくん、ピーくん、ジーくん）を用いたオリジナルCMと全国LPガス協会が制作したCMを三重テレビ放送で通年、放映いたしました。

新聞広告については従来通り3県（愛知・岐阜・三重）が合同で企画し、中日新聞へ10月10日（土）（LPガスの日）に掲載いたしました。

## ■保安委員会

保安委員会では、保安の確保はLPガス事業の基盤であり、お客様に安全・安心をお届けすべく、自主保安をさらに高度化することで、選ばれる業界・選ばれる事業者を目指し、以下の事業を推進しました。

### 1. 保安の確保の充実

#### (1) 保安啓蒙活動補助金事業（△）

各地域における保安啓蒙活動への支援として事業補助制度を設けておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により各地でイベントの中止が相次ぎ、制度の利用が低調となりました。（1 地域協議会、1 事業で活用）

#### (2) LPガス快適生活向上運動“もっと安全さらに安心”

最終年度を迎えた活動ですが、昨年度に続き、「お客様に安心してLPガスをご利用いただく」ために、これまでに実施してきた事故防止対策等の検証を行うとともに、地域性を踏まえた対策を実施してきました。

具体的な活動としては「自主保安活動チェックシート」を活用し、項目ごとに強い点の一層の向上と弱い点の改善策を図り、事故防止対策に繋げてまいりました。

- ・ 回収率 三重県 92.7%（全国平均 92.2%）

#### (3) 地域保安指導事業（△）

新型コロナウイルス感染防止対策として集まったの講習会を取り止め、e-ラーニングでの講習を行いました。

受講登録者は73名で「CO中毒事故防止」、「LPガス災害対策」、「保安業務指導」、「法令指導」の4つのコンテンツの中から選択して講習を受講していただきました。

（注）受講期間は10月1日（木）～10月31日（土）

## ■災害対策等委員会

災害対策等委員会では、喫緊の課題とされる「南海トラフ巨大地震」、近年頻発する集中豪雨などの対策整備が急務であり、地域協議会とともに県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に主体的に活動しました。

### 1. 災害時における対応強化

#### (1) 災害時対応機器備蓄

社会貢献活動として、7月17日（金）に鈴鹿市へ災害時対応機器を備蓄しました。

年 度	備 蓄 先
2012年	尾鷲市 尾鷲市防災センター 南伊勢町 旧町立五ヶ所中学校
2013年	熊野市 市立木本中学校 鳥羽市 旧鳥羽小学校跡地
2014年	伊勢市 光の街コミュニティセンター 紀北町 紀北町役場
2015年	志摩市 志摩市鵜方防災児童公園 大紀町 錦支所
2016年	松阪市 鈴の森公園駐車場 明和町 明和町総合体育館
2017年	四日市市 南部拠点防災倉庫 —
2018年	木曾岬町 木曾岬町防災センター —

## 第 1 号議案

2019 年	津市 津南防災コミュニティセンター	—
2020 年	鈴鹿市 AGF 鈴鹿体育館屋外倉庫	—

### (2) 災害対策の整備

販売事業者、一般充填所を対象に 10 月 15 日 (木) (中核充填所稼働訓練日)、3 月 11 日 (木) (東日本大震災日) の 2 回、情報伝達訓練を実施しました。定期的に情報伝達訓練を実施することで各地域協議会との連携も進み、実効性の向上が図られました。

### (3) 災害時燃料供給WG (ワーキング) (△)

災害時燃料供給WGは南海トラフ地震を始めとした災害時における円滑な燃料供給の実現に向けて最適な道路啓開計画に資するため、関係省庁等による情報共有に基づく燃料インフラの検証を行うことを目的としております。当協会もオブザーバーとして参画しておりますが、2020 年度においては新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催となりました。

### (4) 災害対策要綱・マニュアルの改訂

60 周年記念事業の一環として、災害対策要綱・マニュアルについて修正・追記のほか、感染症対策実施マニュアルを新しく策定するなど大幅な改訂を実施するとともに今後の改訂を考慮して、ファイリングタイプに変更して会員事業者へ配布いたしました。

併せて新型コロナウイルス感染予防としてフェイスシールドも配布いたしました。

## ■中核充填所委員会

中核充填所委員会では、中核充填所相互及び一般充填所との連携を強化しつつ、東日本大震災や西日本集中豪雨、北海道胆振東部地震等で洗い出された課題や教訓を踏まえた実践的な訓練の実施に努めました。

また、災害時に備えて行政や関係機関、第 4 地域 (東海 3 県、北陸 2 県) や全国 L P ガス協会とも連携した活動に取り組みました。

### 1. 災害時石油ガス供給連携計画 (石油の備蓄の確保等に関する法律) に基づく実施訓練

#### (1) 三重県中核充填所稼働訓練

10 月 15 日 (木)、上野ガス(株)亀山支店をメイン会場として、また三重交通商事(株)伊勢液化ガス営業所をサブ会場として中核充填所稼働訓練を実施し、中部経済産業局、三重県防災対策部、亀山市、亀山市消防本部、亀山警察署、地域自治会関係者などの方々にも訓練を見学いただきました。

また、亀山市消防本部の方々による A E D 等を使用した救命処置訓練を実施しました。

#### (2) 第 4 地域連携情報伝達訓練

10 月 9 日 (金)、経済産業省の実施勧告を受けて、三重県南方沖を震源とする震度 7 の地震発生を想定した第 4 地域情報伝達訓練を実施しました。

#### (3) 石油ガス地域防災対応体制整備事業 (中核充填所整備補助金事業)

各地域における協議体制の整備等及び地域防災訓練実施を行うための事業費補助金を受け、稼働訓練機材及び防災機器を整備しました。

## 第1号議案

### (4) 高圧ガス実験・訓練 (▲)

三重県高圧ガス安全協会が主催する高圧ガス実験・訓練へ青年委員会を中心としたメンバーによる参加を計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため開催が中止となりました。

## ■総務委員会

総務委員会では、組織としてのコンプライアンス、ガバナンスを重視し、会員サービスの拡充、会員支援、業界情報の発信など健全な運営を目指してまいりました。また、協会建物、施設、備品等の適正な維持管理に努めました。

### (1) 「LPニュースみえ」の発刊(7月、1月の2回発刊)

### (2) 会員サービスの拡充

自然災害によるLPガス供給設備の損害を対象として導入した新保険制度「LPライフNEO」の周知と加入促進に努めました。

### (3) 協会建物及び施設の適正な維持管理

- ・新型バルク貯槽(500kg、設置後19年経過)の更新工事(入替)を完了しました。
- ・会議室系統の空調機(GHP20馬力)が故障し修理不能のため、リースにて更新(入替)工事を完了しました。
- ・AED(自動体外式除細動器)をリースにて設置完了しました。

### (4) 協会ホームページのリニューアル

サイドコンテンツ表示を止めて一画面表示での情報量を絞り、文字を大きくするなど見やすさを改善しました。また、資格取得講習・義務講習のお知らせ、申し込みなどを会員専用ページからトップ画面へ移すなど使い勝手も向上させました。

さらに、リニューアルを機にホームページの作成・変更業務を事務局で行えるように変更し(それまでは業者へ委託)、利便性が向上しました。

### (5) 60周年記念事業 (△)

新型コロナウイルス感染予防のため、記念講演・祝賀会は中止しましたが、役員功労者表彰及び三重県へのポータブル発電機寄贈については実施いたしました。

### (6) 政治連盟セミナーの開催

11月4日(水)、エルピーガス会館において政治連盟セミナーを開催しました。

第1部 防災講演会 「大規模災害に備える」 三重大学 川口 淳 准教授

第2部 技術講演会 「IoT時代のLPガス経営」 東洋計器(株)

## ■青年委員会

青年委員会では、エネルギー間競争の激化、省エネ志向の進展、人口の減少などによりLPガス需要の緩やかな減少傾向が続く中、次世代を担う後継者を育成すべく様々な活動を進めてまいりました。一方、各地域では委員不足により活動が停滞しております。そのような状況下、現実的な問題を取り上げた研修活動等に取り組みました。

### (1) 研修会「同業に学ぼう！」〈三重県卸売協議会との共同開催〉 (▲)

業界の置かれた環境が激変し、ますますエネルギー間競争が激化する中、次世代にLP

## 第 1 号議案

ガスが勝ち残っていくために今、何を考え、どんな行動をするかの契機とすべく毎年企画しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止いたしました。

代替の研修として3月3日(水)、「みえ企業等防災ネットワーク」が主催する地域別企業等防災研修をZoomオンライン研修の形で受講いたしました。

研修テーマ：「巨大災害に備える～新しい時代の防災・減災対策～」、ほか

### (2) 火育活動「炎に学ぼう！」(▲)

炎の文化継承を目的に継続して火起こし体験等の出前授業を実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止いたしました。

## ■公益目的支出計画に定めた主な実施事業

### 1. 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

① 認可時公益目的財産額	112,800,235 円 (2013年6月確定)
公益目的支出計画の実施期間	16年間
② 期首公益目的財産額	43,739,829 円
当期公益目的支出額	6,678,967 円
③ 期末公益目的財産額	37,060,862 円

### (1) 継続事業 1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びライフラインとしてのLPガスの復旧支援事業等)

#### ① 災害時対応機器備蓄事業

- ・7月17日(金) 鈴鹿市/ AGF 鈴鹿体育館屋外倉庫

#### ② 60周年記念事業(△)

- ・1月29日(金) 三重県へのポータブル発電機寄贈
- ・災害対策要綱・マニュアル(ファイリングタイプ)の製作

### (2) 継続事業 2 広報事業

(機器の適正な管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用方法等についての紹介)

#### ① 広報事業

- ・7月～3月 三重テレビ オリジナルCM、全国LPガス協会作成CMの放映
- ・中日新聞への広告掲載(愛知県、岐阜県、三重県共同事業)

#### ② 食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」(▲)

- ・新型コロナウイルス感染予防のため中止

#### ③ 火育活動「炎に学ぼう！」(▲)

- ・新型コロナウイルス感染予防のため中止

### (3) 継続事業 3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、展示会や講演などによる保安啓蒙活動)

#### ① 地域保安啓蒙活動補助金事業(△)

- ・イベント中止の影響があり、補助金として支援したのは1事業

#### ② 全国親子クッキングコンテスト(▲)

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、三重県大会・東海大会も含め中止

以上